

# 2022年度 百合丘高等学校学校 年間指導計画

教科・科目	公民・政治経済	学年	第3学年	教科書	高等学校現代政治経済 新訂版 (清水書院)
		単位数	4単位	副教材	2022新政治・経済資料 三訂版 (実教出版)

**学習目標**  
政治・経済・国際関係についての基礎的な知識を学習し、資料も活用しながら、社会事象を社会科学的に理解する力、及び、現代社会における課題を認識し、その解決方向を考察できる力を育成する。

- 学習方法**
- 教材及び新聞等の資料などを使用して現代の政治・経済のしくみや現象を学び、その課題を考察する。
  - 現代社会の諸課題について自ら調べて考察し、具体的な問題について自分の見解を構成して表現する。
  - 入試問題等も活用した実践的な問題練習を通じて、知識・理解、思考・判断力、資料活用の水準を測り、高める。

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	現代の政治・経済に対して関心を持ち、平和で民主的な社会生活の実現に向けた諸課題を意欲的に考察している。
b	思考・判断・表現	現代社会の諸問題の本質や特質を正確な知識に基づき多面的に考察して、その解決策をも視野に入れ公正な判断を図っている。
c	資料活用の技能	現代の政治・経済等に関する諸資料を収集し、有用な情報を主体的に選択活用し、自らの見解を表現できる。
d	知識・理解	現代の政治・経済等に関する基本的な知識や理論を理解し、身につけている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期 5 6	1 現代の経済のしくみ	40	・現代経済のしくみと特質 ・金融と財政のしくみ ・世界経済と日本	・市場機構と企業 ・金融・財政のしくみ(日本の財政問題を含む) ・経済活動の計測 ・経済成長と景気・物価の動き ・貿易と為替・国際収支	○	○	○	○	a. 現代経済の仕組みに関心を持ち、意欲的に経済全体を考察しようとしている。 b. 現代経済の機構および現象に対して、基礎的な概念を適切に応用して的確な判断ができる。 c. 基礎的な知識を活用して、資料を的確に読解し、かつその意義を表現できる。 d. 現代経済の基本概念を理解し、考察に活用できる。	・定期試験 ・授業時の提出物 ・レポート等の発表物
	2 現代の経済の動向	16	・世界経済と日本 ・日本経済のあゆみと現状 ・福祉の向上と日本経済の課題	・自由貿易体制のあゆみ ・日本経済のあゆみと現状(農業・中小企業問題を含む)	○	○	○	○	a. 日本経済及び国際経済の歴史と現状に関心を持ち、その諸課題について意欲的に考察しようとしている。 b. 日本経済及び国際経済の現状を、その歴史的背景から理解し、その課題と解決方向について、具体的な判断に向けた考察ができる。 c. 時事的な資料も読解して学習内容との関連を考察し、自身の見解も表現できる。 d. 日本経済と国際経済の歴史と現状を理解するために必要な事項を理解している。	
後期 7 2	2 現代の経済の動向(続き)	8	・世界経済と日本 ・日本経済のあゆみと現状	・国際経済の変容と課題 ・日本経済の課題	○	○	○	○	a. 日本経済及び国際経済の歴史と現状に関心を持ち、その諸課題について意欲的に考察しようとしている。 b. 日本経済及び国際経済の現状を、その歴史的背景から理解し、その課題と解決方向について、具体的な判断に向けた考察ができる。 c. 時事的な資料も読解して学習内容との関連を考察し、自身の見解も表現できる。 d. 日本経済と国際経済の歴史と現状を理解するために必要な事項を理解している。	
	3 現代日本の民主政治	34	・日本国憲法と人権保障 ・現代日本の政治 ・日本の政治機構 ・福祉の向上と日本経済の課題	・人権保障と日本の政治制度 ・参政権・請求権と選挙制度 ・地方自治、および政党 ・社会権と労働・社会保障問題 ・人権をめぐる新たな動向	○	○	○	○	a. 現代日本の民主政治と人権保障の現状に関心を持ち、意欲的に課題を見出そうとしている。 b. 正確な知識に基づいて日本の政治の諸課題を考察し、自らの見解を構成・表現できる。 c. 現代の政治に関する資料を正確に読解し、自らの見解を構成するための考察に活用できる。 d. 民主政治の理念・日本の政治制度、および日本社会の現状と課題について、正確な知識を身につけている。	
	4 国際社会と日本の政治	20	・国際政治と日本 ・日本国憲法と平和主義 ・現代日本の政治	・国際政治の特質と国際法 ・国際連合と国際協力 ・戦後の国際政治 ・日本国憲法の平和主義と日米安全保障体制 ・戦後の日本政治のあゆみ	○	○	○	○	a. 国際政治の成り立ちと、それを背景とした日本の安全保障政策の動向に関心を持ち、その展望と課題を意欲的に考察しようとしている。 b. 正確な知識に基づいて国際政治、及び日本の外交・安全保障の実態と争点を的確に認識し、自身の見解を構成できる。 c. 過去・現在の資料から学習した事項を読み取るとともに、自身の見解の論拠として応用できる。 d. 国際政治と戦後日本の平和主義・安全保障政策について基本的な知識を身につけ理解している。	
	5 現代の国際社会と日本の役割	10	・国際政治と日本 ・世界経済と日本	・現代の民族・国家間紛争 ・人間の安全保障と人間開発論 ・核兵器と軍縮 ・国際社会における日本の役割	○	○	○	○	a. 国際社会の動向に関心を持ち、その中で日本が直面する課題と果たしうる役割について意欲的に考察しようとしている。 b. 正確な知識に基づいて国際社会の諸課題を理解し、その中で日本が採るべき方向について自ら考察して、自身の見解を構成できる。 c. 時事的な資料から学習に関連する内容を読み取るとともに、自身の見解の論拠として応用できる。 d. 国際政治の動向とその中で日本の位置について、正確な知識を身につけ理解している。	
合計時数(55分授業)		128								